

ステップ1

| | |
|---|---|
| 大項目 | ⑤作業に必要な動作と円滑な遂行 |
| 小項目 | 【1】手指の操作性を高める |
| タイトル (教材名) | ゴルフピンさし |
| 目的 身につけて欲しい力 | 細いゴルフピンを指先でつまんで、小さな穴にさすという活動を通して、目と手の協応や指先の巧緻性を高める。 |
| 教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像 | <p><材料> 100均で購入した容器とゴルフピン</p> <p><作り方> 容器のフタにドリルやキリなどでゴルフピンが通る穴を複数開ける。</p>  |
| 教材の使用方法 | <p>①指先で一本ずつゴルフピンをつまむ。</p> <p>②つまんだピンを穴にさしていく。</p> <p>③すべての穴にピンがさされば終わり。</p> <p>児童生徒の集中力に合わせて穴の個数の違う容器を作成しておくが良い。</p> |
| その他 | <p>・この教具の前に、ビー玉ぽっとなやコイン入れを行った。</p> <p><ビー玉ぽっとな></p> <p>・ビー玉とプラスチック容器を用意する。フタに十字の切れ目をカッターナイフで入れる。ふたは柔らかい素材の物がよい。</p>  <p><コイン入れ></p> <p>・100均で購入した貯金箱とコインを用意する。</p>  |

ステップ2

| | |
|---|---|
| 大項目 | ⑤作業に必要な動作と円滑な遂行 |
| 小項目 | 【1】手指の操作性を高める |
| タイトル (教材名) | アイス棒さし |
| 目的 身につけて欲しい力 | 形の違うアイス棒を正しい穴に入れるという活動を通して、目と手の協応や指先の巧緻性を高める。 |
| 教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像 | <p><材料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材カタログで購入したアイス棒（200本入り） ・100均の容器 ・接着剤 ・耐水性の絵の具（アクリルなど） <p><作り方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイス棒を組み合わせて接着し、耐水絵の具で塗装する。 ・アイス棒の断面図に合わせて容器のフタに穴を開ける。 ・とがった部分がなくなるようにヤスリで研ぐ。 <p><アイス棒の形状と実際の写真></p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  棒の断面図 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>実際のアイス棒</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>実際のフタの形状</p> </div> </div> |
| 教材の使用方法 | <ol style="list-style-type: none"> ①使用前に容器に入っているアイス棒（1種類につき5本程度）を取り出しておき、混ぜておく。 ②アイス棒を一本ずつつまみ、形を見て差し込んで落とす。 ③すべての棒を入れきったら終わり。 ④判別しやすい形から始めて、できるようになれば、判別しにくい形やにしたり、棒の種類を増やしたりする。容器ごとに難易度を変えておくと良い。 <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div> |
| その他 | 支援学校の先生方の自立活動教材を参考にさせていただきました。 |

ステップ3

| | |
|---|---|
| 大項目 | ⑤作業に必要な動作と円滑な遂行 |
| 小項目 | 【1】手指の操作性を高める |
| タイトル (教材名) | ボルトナットトレーニング |
| 目的 身につけて欲しい力 | 細かいナットを指でつまんで締める・緩めるといった活動を通して、目と手の協応や指先の巧緻性を高める。 |
| 教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像 | <p><材料> 木材、ボルト、ナット</p> <p><作り方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材にドリルでボルト幅に合わせて穴を開ける。 ・裏面からボルトを通し、ナットで固定する。  |
| 教材の使用方法 | <p><ナット締め></p> <ol style="list-style-type: none"> ①集中して取り組める数のナットを用意する。 ②右に回すとナットが締まっていくことを示す。 ③児童生徒がナットを回して締める。 ④全てのナットを一番下まで回しきったら終了。(締めすぎないように注意！) <p><ナット緩め></p> <ol style="list-style-type: none"> ①締めたナットを左回しで緩めていく。 ②全てのナットをはずしたら終了。 <p>※ナットを締めすぎた時はスパナなどで緩める。</p>  |
| その他 | 応用でボルトを2つと、色分けしたナットを使って、色を合わせてナット締めを行うこともできる。 |